

釜石市立小学校空調整備（その５）工事

唐 丹 小 学 校	
図面番号	図 面 名 称
E-00	図面リスト
E-01	機械設備工事 特記仕様書
E-02	案内図・配置図
E-03	棟3＋棟4 1階空調設備平面図・機器表

Ⅰ. 工事概要									
1. 工事名称	釜石市立小中学校空調整備(その5) 工事(唐戸小学校)								
2. 工事場所	釜石市唐戸町小浜3-1-4								
3. 建物概要									
建 物 名 称	構 造	階 数	延面積 (㎡)	消防法施行令(別表)	備 考				
唐戸小学校	W造	2		7項					
4. 工事種目(○印のついたものを適用する)									
建 物 別 及 屋 外 工 事 種 目		工 事 種 別					備 考		
		屋内	屋外						
○空気調和設備		●	○	*	*	*	*	*	*
・換気		*	*	*	*	*	*	*	*
・排煙		"	"	*	*	*	*	*	*
・自動制御		"	"	*	*	*	*	*	*
・衛生器具		"	"	*	*	*	*	*	*
・給水		"	"	*	*	*	*	*	*
・排水		"	"	*	*	*	*	*	*
・給湯		"	"	*	*	*	*	*	*
・消火		"	"	*	*	*	*	*	*
・ガス		"	"	*	*	*	*	*	*
・厨房機器		"	"	*	*	*	*	*	*
・し尿浄化槽		"	"	*	*	*	*	*	*
・撤去工事		"	"	*	*	*	*	*	*
○発生材処理		●	○	*	*	*	*	*	*
・		*	*	*	*	*	*	*	*
・		*	*	*	*	*	*	*	*
・		*	*	*	*	*	*	*	*
・		*	*	*	*	*	*	*	*
5. 設備概要(○印のついたものを適用する)									
空気調和方式等		○空気調和	・全空気方式 ・ファンコイルダクト併用方式 ⑤パッケージ方式(ルームエアコン) ・温風暖房 ・温風暖房機 ・FF暖房機 ・直接暖房 ・蒸気暖房 ・温水暖房						
		給水方式	・水道直接方式 ・高圧タンク方式 ・加圧送水方式 建築物内の汚水及び雑排水(・分流式 ・合流式) 放流先 汚水 ・下水道直接放流 し尿浄化槽 雑排水 ・下水道直接放流 し尿浄化槽 ・側溝						
排水方式		・局所式 ・中央式							
給湯方式		・室内消火栓 ・連結送水管 ・屋外消火栓 ・スプリンクラー ・二酸化炭素消火 ・連続散水 ・粉末消火 ・泡消火 ・その他							
消火設備方式									
Ⅱ. 工事仕様									
1. 共通仕様									
図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修の公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)(最新版)、公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編)(最新版)及び公共建築設備工事標準図(機械設備工事編)(最新版)による。									
2. 特記仕様									
項目		番号に○印のついたものを適用する。							
1) 特記事項		○印の付いたものを適用する。 ○印の付かない場合は ※ 印の付いたものを適用する。 ○印と◎印の付いた場合は、共に適用する。							
章 項 目		特 記 事 項							
一 般	① 適用基準等	○工事写真の撮り方 工事写真撮影ガイドブック機械設備工事編(最新版) 工国土交通大臣官庁官庁営繕部監修 ○機械設備工事監理指針(最新版)国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修 工事現場における電気保安技術者は、当該施設の電気技術員及び当該施設を管理する東北電気保安協会等を補佐し、工事期間中の電気工作物の保安及び工事監理の業務を行うものとする。 ・配管施工技能士 ・熱絶縁施工技能士 ・塗装施工技能士 ○冷凍空調と機器施工技能士 ・建築板金施工技能士							
	2. 電気保安技術者	本工事に使用する機器及び材料は新品とし、設計図書に定める品質及び性能を有するものとすること。同等品以上とする。ただし、特定の品以上とする場合は監督員の承認を受ける。							
	3. 技 能 者	検査及び試験を行うべき機材等は、標準仕様書による。							
	④ 機 材	工事前において再利用のを図るものとし、 ハ) 上記イ) ロ) 以外の発生材は、可能な限り中間処理施設等において再利用・減量化を図るものとし、処理方法は監督員と協議する。 ニ) 現場において再利用を図るもの ホ) 本工事で発生する建設廃棄物のうち、若手県内の最終処分場(中間処理施設経由を含む)に搬入される産業廃棄物については、若手県産業廃棄物税が課税されるので適正に処理すること。							
	⑥ 機材等の検査及び試験	各機器の個別運転調整後に下記の総合調整を行う。 ・風量調整 ・水量調整 ・室内外空気の温度測定 ・室内気流及び塵埃の測定 ・騒音の測定 ○初期運転状態の記録							
	⑦ 工用水の電力・水・その他	○電動機の絶緣抵抗の測定 イ) 電動機出力などは、表示された出力以下の容量とする。 ロ) 冷凍熱源機器等及び防災機器の能力、容量はその数値以上とする。 ハ) 電源の周波数は、50Hzとする。							
	8. 工事用仮設 工事用駐車場 資機材置場	耐震措置 計費及び施工方法は、次の事項以外すべて建築設備前設計施工指針(独立行政法人建築研究センター2014年版)による。 設置場所 特定施設 一般施設 重要機器 一般機器 重要機器 一般機器 上層廊下、屋上及び塔屋 2.0(2.0) 1.5(2.0) 1.5(2.0) 1.0(1.5) 中 間 階 1.5(1.5) 1.0(1.5) 1.0(1.5) 0.6(1.0) 1階及び地盤 1.0(1.0) 0.6(1.0) 0.6(1.0) 0.4(0.6)							
	9. 残土処理	注1) 設置場所の区分は標準仕様書による。 注2) () 内の設備は防振支持の機器の場合に適用する。 イ) 本工事は施設は、(※)一般施設 ・特定施設) とする。 ロ) 地域係数は、1.0とする。 ハ) 100kg以下の軽量の機器(標準仕様書の適用を受けるものは除く)においても耐震性を考慮し、据付け又は取付を行うものとして、前記指針の方法によりなくともよい。 ニ) 重要機器類(高架タンク、受水タンクは機器表による。)							
	⑩ 発生材の処理								
	共 通	⑪ 総合調整							
事 項	⑫ 容量の表示								
	⑬ 耐震施工								
	項								

[illegible]

のコンクリート部の床、壁の配管貫通部等の穴明けは、原則として
 ダイアモンドカッターによる。

イ) 端子等については、特に電気請負業者と事前打合せを行う。
 ロ) 機器付属の制御盤及び操作盤までの一次側電気工事は全て

ハ) 機器付属の制御盤及び操作盤までの二次側電気工事は全て

ニ) 全てのスリーブ入れ及び箱入れは

ホ) スリーブ及び箱入りの補強工事は

ハ) 天井、壁のボンド類（軽質鉄骨も含む）の地下切込み及び開口補強は

官公署への諸手続き等は遅滞なく監督員と協議のうえ、請負者が代行処理する。
 ヒューズ（温度ヒューズも含む）及び表示灯は予備品として、２０％納入する。
 （種別ごと最低１個）

建物導入部の変位吸収は標準図（施工４及び５）による。

対象管 ・給水管 ・ガス管 ・油管
 ロ) 管周囲の保護 ・山砂
 イ) 環境土壌 ・山砂 ・良質発生土

地中埋設管及び埋設用テープは、下記による。

イ) 給水管地中埋設管（※要 ・不要） 埋設表示用テープ（※要 ・不要）
 ロ) ガス管地中埋設管（※要 ・不要） 埋設表示用テープ（※要 ・不要）
 ハ) 油管地中埋設管（※要 ・不要） 埋設表示用テープ（※要 ・不要）

図示による。

特に明記のない弁等のサイズは、接続配管サイズに同じ。
 凍結の恐れのある水道管、冷温水管等の一部施工時の気密試験については、水圧試験を空気圧試験に代えることができるが、完成時までに水圧試験を実施すること。

イ) 電気設備工事は建築工事は、各特記仕様書による。
 ロ) 本工事に使用する鉄製製マンホール蓋には、異質を入れること。
 ハ) 本工事完成１年後に経年検査を行うこと。

本工事の請負者は、工事期間中工事品物及び工事資材に対して、下記により組立保険に加入する。

加入金額	請負金額の１００％
加入時期及び期間	資材搬入前から完成後３０日まで

書名	製本仕様	規格	部数	備考
○完成図書	・金文アル原表紙 ・市販ファイル	○Ａ４判	○２	完成図（修正設計図）、施工図、納入仕様書 機組取説図書、仕様書、出用証書 保証書、官公庁届書等写し 産業廃棄物処理関係書類（委託契約書、 許可証、マニフェスト等）等写し 関係者へ送付する一覧表等一括 バインダー製本とする。 なお一冊の厚さは、１０ｃｍ程度とする。
○完成図 （修正設計図）	○二つ折り製本	・Ａ２判 ○Ａ４判	○２ ・３	Ａ１判二つ折り Ａ３判二つ折り
○施工図	○二つ折り製本	・Ａ２判 ○Ａ４判	○２ ・３	Ａ１判二つ折り Ａ３判二つ折り
○完成写真	○市販ファイル	○Ａ４判	○１	
○工事写真	○市販ファイル	○Ａ４判	○１	管組工事写真撮影要領（国土交通省大臣官庁 官庁事務課）による
○保守管理 案内書	○市販ファイル	○Ａ４判	○２	日常保守管理案内書（使用者が容易に理解 できるもの）
○工事関係 書類	○市販ファイル	○Ａ４判	○１	施工体制台帳・体系図、下請調査書等、材料 検収簿（監督員または補助監督員が印押した もの）等
○電子納品	○ＣＤ－Ｒまたは ＤＶＤ－Ｒ	○Ａ４判	○２	完成図（修正設計図）及び施工図のＣＡＤ データ（フロッピー、ＪＷＷ、ＤＸＦ、ＰＤＦ等） 完成写真、工事写真のデータ（任意形式）

※ 適用する

○本工事は建物を使用しながらの工事であること。

外 気		室 内（目標値）						備 考	
温度		一般系統		温度		温度		温度	
温度	湿度	温度	湿度	温度	湿度	温度	湿度	温度	湿度
冬季	℃	℃	％	℃	％	℃	％	℃	％
夏季	℃	℃	％	℃	％	℃	％	℃	％
(DB) (RH)		(DB) (RH)		(DB) (RH)		(DB) (RH)		(DB) (RH)	

・ 取付ける ・ 取付けない
 ※ 取付ける（測定口８０ フランジ止） ・ 取付けない

※ 別途 ・ 本工事（鋼板厚４.５ｍ、高さ５.７ｍ以上）
 ※ 鋼板厚３００以下は３.２ｍ、３００を超えるものは４.５ｍとする。
 ・ 図示による（４１０以上の煙道には、排除口に蝶番を取付ける）

※ アングル工法 ・ コーナーボルト工法（ ・ 共板 ・ スライド）
 ※ 低速 ・ スパイラルダクト

取付け場所は図示による。取付け金は監督員による。

復舊形式 ※ 遠隔式（電動式（定格入力ＤＣ２４Ｖ、５Ａ以下））
 ※ 順送り ・ 同時

図示のＦＶＤとは、防火ダンパーに風量調節機構を組み込んだもので調節機構は、
 段落的調節機構とする。

・ メカニカルタイプ ・ 風速センサータイプ
 イ) 冷温水管 ※ 配管用炭素鋼管（白） ・ 圧力配管用炭素鋼管
 ・ 耐熱性ライニング鋼管 ・ ステンレス鋼管

ロ) 冷却水管 ※ 配管用炭素鋼管（白） ・ 圧力配管用炭素鋼管
 ・ 塩ビライニング鋼管 ・ ポリ粉体ライニング鋼管
 ・ ステンレス鋼管

ハ) 蒸気管 送り管 ※ 配管用炭素鋼管（黒） ・ 圧力配管用炭素鋼管
 送り管 ※ 配管用炭素鋼管（黒） ・ 圧力配管用炭素鋼管
 ・ 一般配管用ステンレス鋼管

ニ) 油管、油用通気管 ※ 配管用炭素鋼管（黒） ・ 鋼管
 ・ 外面ポリエチレン被覆鋼管（屋外、トラフ内配管）

ホ) 膨脹管、空気抜き管、膨脹タンクよりボイラー等への給水管 ※ 配管用炭素鋼管（白） ・
 ※ 配管用炭素鋼管（黒）

ヘ) 空調用排水管 ※ 配管用炭素鋼管（白） ○ ビニル管（ＶＰ）

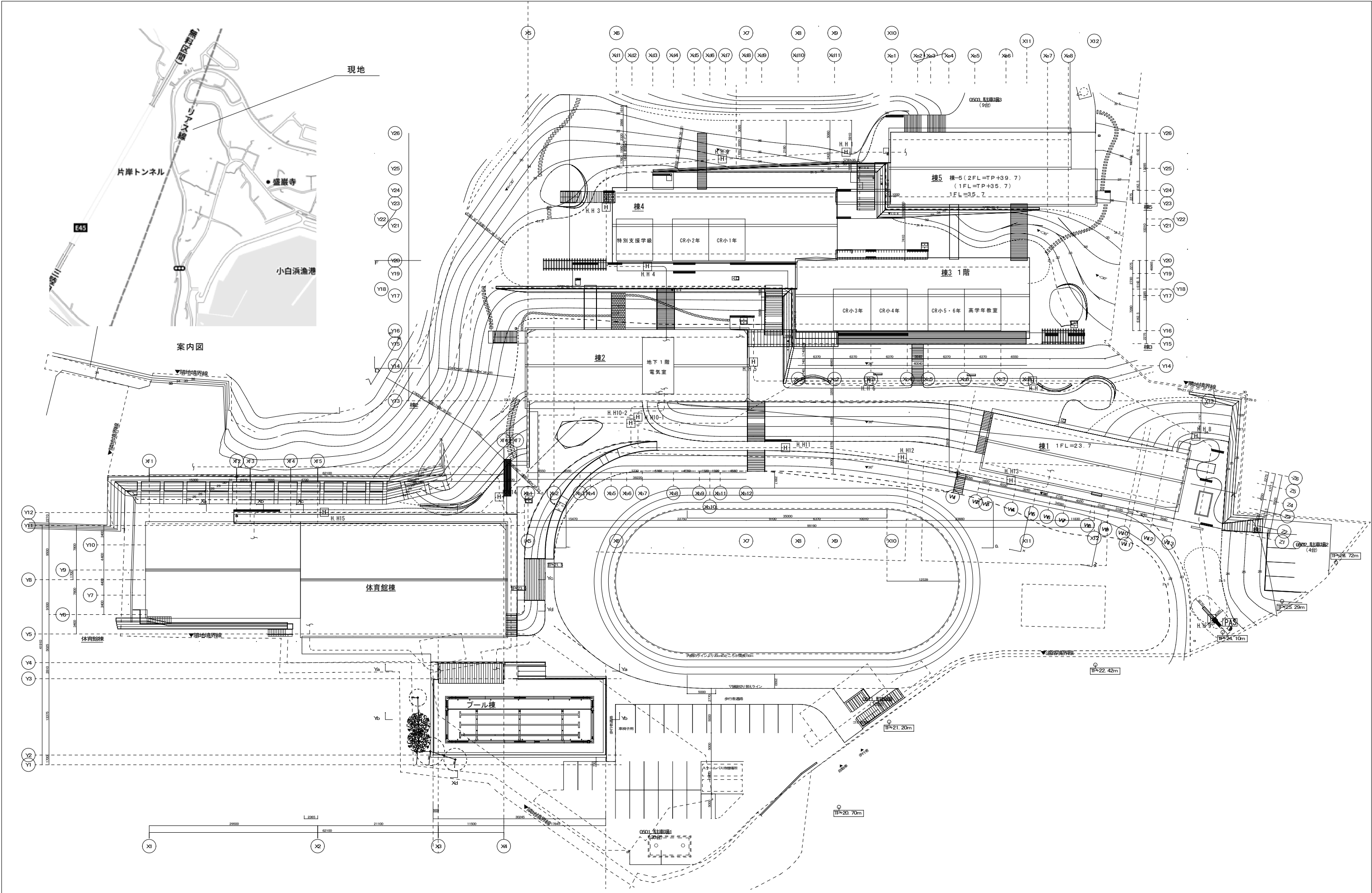
ト) 冷媒管 ※ 鋼管 ・ 圧力配管用炭素鋼管 ○ 断熱材被覆鋼管
 ※ ＪＩＳ５ｋｇｆ／ｃｍ２ ・ ＪＩＳ１０ｋｇｆ／ｃｍ２


※ ベローズ形 ・ スリーブ形

標準仕様書によるほか、下記の箇所に取付ける。
 （配管用はし形、ダクト用は丸形）
 イ) 空気用暖房、温風暖房機まわりの給気ダクト、環気ダクト及び外気ダクト
 ロ) 冷温水ヘッダー（注）及び冷温水ヘッダーの各理り管
 ハ) 排気口形空気調節機構の冷却水出口

○ 空 気 調 和 設 備	15. 瞬間流量計及び測定用タッピング(32mmビット管流量計用)	・冷凍機又は冷水発生機の冷水出口 ・瞬間流量計(・固定形・着脱可能形) ・タッピングを取付ける ロ) 冷凍機又は冷水発生機の冷却水出口 ・瞬間流量計(・固定形・着脱可能形) ・タッピングを取付ける ハ) ポイラー又は熱交換器の温水出口 ・瞬間流量計(・固定形・着脱可能形) ・タッピングを取付ける ニ) 空気調和機の冷水水入口 ・瞬間流量計(・固定形・着脱可能形) ・タッピングを取付ける ホ) 冷水水ヘッダーの各送り管 ・瞬間流量計(・固定形・着脱可能形) ・タッピングを取付ける
	16. オイルタンク	イ) 遠隔油量指示計 ※ 取付ける ・ 取付けない ロ) 計量尺は、青銅製、黄銅製又はアルミ製とし、100 l 実測目盛印とする。計量口は錠付とする。 ※ 取付ける ・ 取付けない
	17. 積算流量計 18. 消音内貼り ⑨ 保 温	イ) 施工箇所は図示による。 ロ) 内貼りチャンバー類の寸法表示は、外形寸法とする。 イ) 建物内の空気抜き管の保温は、空気抜き弁(弁含む)までとし、仕様は冷水水管の項による。 ロ) 屋外露出配管の保温は、給水設備の項による。 ハ) 外気取り入れダクトの保温を ※ 行う ・ 行わない ニ) 屋外の冷媒管の保温外装は ① 化粧ケース(樹脂製)とする。 ホ) 高圧蒸気管及びヘッダーの保温厚 40 mm とする。
・ 換 気 設 備	20. 電気工事の範囲	イ) 地震感知器の配管配線は ※ 別途 ・ 本工事 ロ) 防煙ダンパーと運動制御器までの配管配線及び運動制御器から煙感知器までの配管配線は ※ 別途 ・ 本工事 ※ 亜鉛鉄板製 ・ 自己消火性のポリスチレンフォーム製
	21. カセット形ファンコイルユニットの風量分配ダクト	
	1. 主要事項	[・ 暖房 ・ 冷房 ・ 空気調和設備の当該事項に準ずる。] ・ 6 ・ 7 ・ 8 ・ 9 ・ 10
・ 排 煙 設 備	2. ダクトの工法	※ アングル工法 ・ コーナーボルト工法(・ 共板 ・ スライド) ・ スパイラルダクト
	3. 厨房用フード	(・ 一重 ※ 二重) としてフードロック(※ 有 ・ 無) とする。
	4. 保 温	イ) 外気取り入れダクトは保温する。ただし、送・排風機は除く。 ロ) 全熱交換器に接続するダクトは、保温を行う。 ハ) 外壁より1m部分の排気ダクト及び浴室排気ダクトは、保温を行う。
・ 自 動 制 御 機 器	1. ダクト	・ 亜鉛鉄板製 ・ 鋼板製(1.6mm以上)
	2. 排煙口開放装置	・ 手動式(・ワイヤー式 ・ 電気式) ・ 手動及び遠隔操作可能なもの
	3. 排煙風量測定方法	排煙風量を測定する場合は JIS A 4303 の排煙設備検査基準 4.2.1 (2) (C) による。
・ 衛 生 器 具 設 備	4. 排煙口の形式	・ 可動羽根(スリット共) ・ 可動パネル
	1. 中央監視制御	・ あり ・ なし
	2. 中央監視制御の構成機能	図示による。
・ 給 水 設 備	3. そ の 他	室内温度検出器等を2個以上併設して設置する場合は、サーモケースを使用する。
	1. 大便秘洗浄弁	・ 不凍節水弁付とする。
	2. 大便秘洗浄用タンク	※ 防霧形ロータック (※ 手洗いなし ① 手洗い付)
・ 給 水 設 備	3. 小便器洗浄装置	※ 押ボタン式(不凍節水弁付) ① 自動洗浄(AC100V)
	4. 小便器洗浄管	※ 埋込 ・ 一部埋込 ・ 露出
	5. 付属水栓	吊りこみ式(節水こみ式)とする。実験器具用は除く。
・ 給 水 設 備	6. 注 記 板	大便器及び小便器の壁に取付ける ・ 樹脂製
	7. 自動水栓	電源供給方法(※ AC100V ① 流水発電電池)
・ 給 水 設 備	1. 量水器	親メーターは ※ 借用 ・ 買取り 子メーターは ※ 買取り
	2. 量水器料	イ) 親メーター用 ・ 水道事業者の指定店 ・ 標準図(機材 57) ロ) 子メーター用 ・ 標準図(機材 57) ・ 水道事業者の指定店
	3. 配管材料	イ) 一般用 ・ 塩ビライニング鋼管 ・ ポリ粉体鋼管 ・ ステンレス鋼管 ・ 鉄鉄管 ロ) 地中用(屋内地中も含む) ・ 塩ビライニング鋼管 ・ ポリ粉体鋼管 ・ ビニル管 ・ ポリエチレン管
・ 給 水 設 備	4. 散水栓ボックス	※ 鉄鉄製 ・ ステンレス製 (・ 錠付 ・ 錠無)
	5. 弁 類	水道直結部分 高置水栓以降 ※ JIS 10 kgf/cm ² ※ JIS 5 kgf/cm ² ・ JIS 10 kgf/cm ²
	6. 給水栓	・ 一般水栓 ・ 耐寒水栓
・ 給 水 設 備	7. 埋設深さ	※ 一般敷地内(0.6m以上) ・ 敷地内車輦道路(0.6m以上) ※ 公道部分(※ 水道事業者及び道路管理者規定による)
	8. 埋設弁開閉用ハンドル	本工事に ※ 含む(水道事業者管理用以外弁開作用) ・ 含まない
	9. 保 温	イ) 量水器樹内の保温を行う。 ロ) 屋外配管(弁・フランジ類を含む)は、標準仕様書第2編2.3.5表a2(n)、厚さは、呼び径25mm以下のものは50mm、呼び径25mm以上のものは40mmとする。
・ 給 水 設 備	10. 水道加入金等	水道加入金 ・ 要 (・ 本工事 ・ 別途工事) ・ 不要
	11. そ の 他	給水管の最小口径は20mmとする。ただし、器具接続部分を除く。

1. 配管材料	イ) 屋内汚水管 ・排水用塩ビライニング鋼管 ・コーティング鋼管 ・メカニカル排水鉄製管 ・ビニル管（VP） ・鉛 管 ・耐火二層管 ロ) 屋内雑排水管 ・配管用炭素鋼鋼管（白） ・排水用塩ビライニング鋼管 ・コーティング鋼管 ・排水用鉄製管 ・ビニル管（VP） ・耐火二層管 ハ) 屋外汚水、雑排水管 ・ヒューム管（1種B形） ・ビニル管（VP） ・ビニル管（VU） ・コーティング鋼管 ・配管用炭素鋼鋼管（白）
2. 満水試験継手	・取付けない ・図示した箇所に取付ける
3. 別途流し	トラップは（ ・ 別途 ・ 本工事 ） 立管は本工事
4. 試 験	排水管は、衛生器具などの取付け完了後確認試験又は通水試験を ※ 行う ・ 行わない
5. 放流負担金	・ 不要 ・ 要（ ・ 別途工事 ・ 本工事 ）
1. 配管材料	・ 耐熱性塩ビライニング鋼管 ・ ステンレス鋼管 ・ 銅 管 ・ 被覆鋼管 ・ 保温付被覆鋼管
2. 弁 類	給水設備の当該事項による。
3. 湯沸器回り配管	機器に接続する給水管、給湯管は銅製又はステンレス製のフレキシブルチューブを使用してよい。
4. 湯沸器の排気筒	※ 本工事（厚さ0.5mm以上のステンレス鋼板製） ・ 別途
5. 保 温	湯沸器排水口の保温は ※ 行う ・ 行わない
1. 配管材料	イ) 一般 ・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管（SCH40） ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管（縦目無管）（Sch80） ロ) 地中埋設部 ・ 外面被覆鋼管（SGP-VS） ・ 外面被覆鋼管（SGP-PS） ・ JIS 10kgf/cm ² ・ JIS 20kgf/cm ²
2. 消火栓閉弁	屋外出力管については給水管に準ずる。 kgf/cm ² 以下
3. 保 温	
4. 2号消火栓の圧力損失	
1. ガスの種類	・ 都市ガス（発熱量 k Cal/m ³ ）都市ガス供給業者（ ） ・ 液化石油ガス（12,000 k Cal/Kg）
2. 配管材料	イ) 一般 ※ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ ポリエチレン被覆鋼管 ロ) 地中埋設部 ・ ガス用ポリエチレン管 ・ ポリエチレン被覆鋼管
3. 都市ガス	イ) ガスメーター 親メーターはガス供給事業者より借用 子メーターは買取りとする。 ロ) 引込み負担金 ・ 不要 ・ 要（ ・ 別途工事 ・ 本工事 ）
4. 液化石油ガス	イ) ガスポンベは ※ 借用 ・ 買い取り （ ・ 10kg ・ 20kg ・ 50kg 本） ロ) ガスメーター 親メーターはガス供給事業者より借用 子メーターは買取りとする。 ハ) 転倒防止用の鎖は ※ 本工事 ・ 別途工事 ニ) 転倒防止装置は ・ 本工事とし施工要領は標準図（施工 73）による。 ・ 本工事 図示の場所に ・ 取付ける（ ・ 分離形 ・ 一体形） 外部出力端子（ ・ あり ・ なし）
5. ガス漏れ警報遮断装置	
6. 埋設深さ	※ 一般敷地内（ m以上） ・ 敷地内車輦道路（ m以上） ・ 公道（ガス供給事業者及び道路管理者規定による）
1. 厨房機器類	・ 本工事 ※ 別途工事
2. 付属制御盤	器具付属の制御盤は、製造者規格品とする。
1. 処理能力	図示による。
2. 放流水質	図示による。
3. 処理方式	図示による。
4. 主要構造	図示による。
5. 制 御 盤	※ 制御盤には漏電、過負荷、満水警報等の一括故障表示用無電圧接点及び端子を設ける。 ・ 製造者標準品とする。
6. 清 毒 剤	30日分を納入する。
7. 維持管理	※ 使用開始後請負者において1年間維持管理すること。 （放流水の水質検査書を提出する） ・ 一定期間定常状態において使用后、放流水の水質検査書提出すること。
1. 撤去工事	・ 空調設備 ・ 給排水衛生設備 ・ アスベストの撤去 ・ 有リ ・ 無し
① 発生材	◎ 発生材は、金属（鉄、アルミニウム、ステンレス等）、樹脂（プラスチック、ビニル管等）、保温材料（ロックウール、グラスウール、ポリスチレンフォーム等、その他、（コンクリート破片等）等に分けて分別収集する。
② 産業廃棄物	◎ 産業廃棄物の処理は適正に処理する。
※防食工事	トラフ内油配管には、ペトロラタム系防食テープをハーフラップ1回巻きの上、防食用プラスチックテープをハーフラップ1回巻きとする。 被覆箇所も同様とする。



<div></div> <div>釜石市建設部都市計画課</div>	課 長	主 幹	課長補佐	設 計	係	工事名	図 面 名	E - 0 2
						釜石市立小学校空調整備（その５）工事	案内図・配置図	
						令和 3 年 4 月 日	縮 尺 1 : 300 (A1) 1 : 600 (A3)	

